

決 算 報 告 書

第27期

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

知立まちづくり株式会社

知立市中町中 1 3 2 番地

事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1. 営業の概要

(1) 営業の経過及び効果

2020年3月11日、世界保健機構(WHO)がパンデミック(世界的な大流行)に相当すると表明した「新型コロナウイルス感染症」は、我々の生活に大きな影響を及ぼしています。

当社が運営するホールをはじめとする施設や駐車場においても、新型コロナ拡大防止策としての長期休館、貸館利用者からの相次ぐキャンセル、駐車場売上の大幅減など、これまでに経験したことのない大きな減収となりました。

このような開業以来の窮地を乗り切るために、施設管理委託業務の全面的な見直しなどにより経常経費を抑制すると共に雇用調整助成金などの活用による収入の確保を図っているところです。また、ホール利用促進のために導入した料金割引制度や若手演奏家応援キャンペーンの展開、SNSやYouTubeチャンネルの開設により新たな利用者の獲得を目指しています。

主催・共催公演は当初9公演を予定していましたが、新型コロナの影響で縮小を余儀なくされ、主催3公演、共催1公演のみの開催となりました。

主催の「新野智子フルトリサイタル」「ピアノ連弾 レ・フレールライブ」「寺井尚子ニューイヤーコンサート」の3公演については、コロナ禍の中、感染拡大防止対策を十分に施した上で開催し、来場者に安心して楽しんでいただきました。ちりゅう芸術創造協会と共催の「ちりゅうフレッシュコンサート」は、当初の予定より8か月延期しての開催となりましたが、新人演奏家に貴重な演奏機会を提供することができました。また、ホールをもっと知ってもらい気軽にクラシック音楽を楽しんでいただくために開催した無料公演「リリオ ミニ・コンサート」は大変好評で、次年度も引き続き開催し、リリオの魅力を広めてまいります。

事業面では、新型コロナウイルス感染症の影響は大変大きく、全体の売上高は26,146千円、前年度比32.9%減となりました。駐車場収入は前年度比40.1%減、文化施設収入は前年度比19.1%減、イベント等収入は2,219千円で、開催できた3公演では定員半数での実施もあり前年度比35%減となりました。

また、費用の面では販売費及び一般管理費は74,468千円で前年度比0.6%減となり、主なものとして修繕費は5,457千円となりました。

結果として、10,774千円の当期純損失となり、繰越利益剰余金は▲67,493千円となりました。

(2) 今後対処すべき課題

開館以来20年以上が経過しており、施設や設備の更新が目白押しとなっていることから、計画的な改修を図ると同時に新型コロナ対策を踏まえた安心安全な施設を目指します。

また、知立市役所担当部局、ちりゅう芸術創造協会、知立市文化協会やホテルクラウンパレス知立など関係団体との連携強化を図りつつ、知立市の中心市街地活性化促進の一翼を担っていくと共に、昨年度策定された「知立市文化芸術推進基本計画」を市内の文化施設として推進してまいります。

(3) 営業成績及び財産の状況推移

(単位：千円)

区分	第23期 平成28年度	第24期 平成29年度	第25期 平成30年度	第26期 令和元年度	第27期 令和2年度
売上高	44,106	43,463	46,958	38,973	26,146
経常利益	▲ 2,446	▲ 2,267	▲ 1,533	▲ 2,376	▲ 12,086
当期利益	▲ 1,405	▲ 1,145	▲ 451	▲ 1,293	▲ 10,774
1株当りの 当期利益	▲77円20銭	▲62円91銭	▲24円78銭	▲71円06銭	▲591円92銭
総資産	381,346	377,327	373,047	365,696	405,132

(注) 1. 「▲」は損失を表しています。

2. 金額は千円以下切り捨てております。

2. 会社の概要

(1) 主要な事業内容

音楽・公演等催事の企画と運営
音楽ホール・会議室等の賃貸と管理
駐車場の管理運営
その他上記に付帯する事業

(2) 主要な事業所

本社 知立市中町中132番地

(3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 39,600株
②発行済株式総数 18,202株
③当期中名義書換 0株
④当期末株主総数 31名
⑤大株主の状況

株主名	持株数	出資比率	当社の大株主への 出資状況
知立市	8,000株	44.0%	なし
中小企業基盤整備機構	8,000株	44.0%	なし
知立銀座商店街協同組合	1,278株	7.0%	なし
知立市商工会	200株	1.1%	なし

(4) 長期借入金の借入先・借入残額

(単位：千円)

借入先	期首残高	当期増加額	当期減少額	借入残額
碧海信用金庫	0	40,000	1,904	38,096

(注) 1. 一年内返済予定長期借入金が含まれています。

2. 金額は千円以下を切り捨てております。

(5) 従業員の状況

(単位：人)

区分	一般社員	パート	嘱託	合計	対前期末増減
男子	3	0	1	4	0
女子	0	5	0	5	3
合計	3	5	1	9	3

(6) 取締役及び監査役並びに兼務の状況

役職		氏名	兼務する主な職業
代表取締役	常勤	隅田 薫	知立銀座商店街協同組合 代表理事 (株)しんばしや 代表取締役
取締役	非常勤	加藤 敏三	知立銀座商店街協同組合 理事 (株)丸八 代表取締役会長
取締役	非常勤	新美文二	知立市商工会 会長 (株)コムライン 代表取締役
監査役	非常勤	岡本 勝年	
監査役	非常勤	田口 岳夫	知立金融協会 会長

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部			
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【110,467】	【流動負債】	【24,975】
現金及び預金	91,274	1年以内返済長期借入金	5,712
売掛金	788	未払金	15,403
前渡金	16,230	未払法人税等	296
前払費用	213	前受金	1,842
未収入金	1,961	預り金	97
【固定資産】	【294,664】	賞与引当金	1,623
(有形固定資産)	(258,431)	【固定負債】	【32,384】
建物	133,308	長期借入金	32,384
構築物	30	負債の部計	57,359
車両運搬具	0	純資産の部	
器具備品	19	I株主資本	(347,772)
土地	125,000	1.資本金	100,000
その他有形固定資産	73	2.その他資本剰余金	315,266
(無形固定資産)	(218)	3.資本剰余金	0
電話加入権	218	4.利益剰余金	(▲ 67,493)
(投資その他の資産)	(36,014)	(1)その他利益剰余金	(- 67,493)
出資金	40	繰越利益剰余金	▲ 67,493
積立金	35,974	純資産の部計	347,772
資産の部計	405,132	負債・純資産の部計	405,132

(注) 1. 「▲」は損失を表しています。

2. 金額は千円以下を切り捨てております。

損 益 計 算 書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
《 経 常 損 益 の 部 》		
(営業損益の部)		
【 売 上 高 】		
駐 車 場 収 入	13,833	
文 化 施 設 収 入	8,909	
イ ベ ン ト 等 収 入	2,219	
そ の 他 営 業 収 入	1,183	26,146
【 売 上 原 価 】		
イ ベ ン ト 等 原 価	4,089	4,089
売 上 総 利 益		22,056
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		74,468
営 業 損 失		52,411
(営業外損益の部)		
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	3	
市 補 助 金	36,000	
受 取 配 当 金	1	
雑 収 入	4,518	40,523
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	198	
経 常 損 失		12,086
《 特 別 損 益 の 部 》		
【 特 別 利 益 】		
賞 与 引 当 金 戻 入	1,610	1,610
【 特 別 損 失 】		
固 定 資 産 除 却 損	0	0
税 引 前 当 期 純 損 失		10,476
法 人 税 そ の 他 の 税		297
当 期 純 損 失		10,774

(注) 金額は千円以下を切り捨てております。

株主資本等変動計算書

第27期（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

（単位：千円）

I 株主資本

1. 資本金

当期首残高	100,000
当期変動額	0
当期末残高	<u>100,000</u>

2. その他資本剰余金

当期首残高	315,266
当期変動額	0
当期末残高	<u>315,266</u>

3. 利益剰余金

(1) その他利益剰余金

繰越利益剰余金

当期首残高	▲ 56,719
当期変動額	
当期純損失	▲ 10,774
当期末残高	<u>▲ 67,493</u>

その他利益剰余金合計

当期首残高	▲ 56,719
当期変動額	
当期純損失	▲ 10,774
当期末残高	<u>▲ 67,493</u>

株主資本合計

当期首残高	358,547
当期変動額	
当期純損失	▲ 10,774
当期末残高	<u>347,772</u>

II 評価・換算差額等

当期首残高	0
当期変動額	0
当期末残高	<u>0</u>

III 新株予約券

当期首残高	0
当期変動額	0
当期末残高	<u>0</u>

純資産の部合計

当期首残高	358,547
当期変動額	
当期純損失	▲ 10,774
当期末残高	<u>347,772</u>

（注）1. 「▲」は損失を表しています。

2. 金額は千円以下を切り捨てております。

[注 記 事 項]

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法

(i) 有形固定資産

定率法または旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、取得価格10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。

2. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

II. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 663,002千円

2. 大規模改修工事

令和3年2月において知立中町N棟施設管理組合による高圧受変電設備改修工事を行ったため、高圧設備改修工事として11,371千円を資産計上している。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 18,202株

IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、19,106.30円であります。

2. 一株当たり当期純損失は、591.92円であります。

以 上

監 査 報 告 書

令和3年5月12日

知立まちづくり株式会社
代表取締役 隅田 薫 殿

監 査 役

田口 岳夫 

監 査 役

岡本 勝彦 

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第27期営業年度における取締役の職務の執行を監査した結果、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

取締役会及びその他重要な会議に出席するほか、取締役等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、かつ計算書類及び付属明細書につき検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 株主資本等変動計算書に関する議案は、会社財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- (3) 付属明細書は記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 取締役の職務遂行に関する不正の行為、又は法令若しくは定款に違反する重大な事実とは認められません。

なお、取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、株主との通例的でない取引並びに自己株式の取得及び処分等についても取締役の義務違反は認められません。

以上